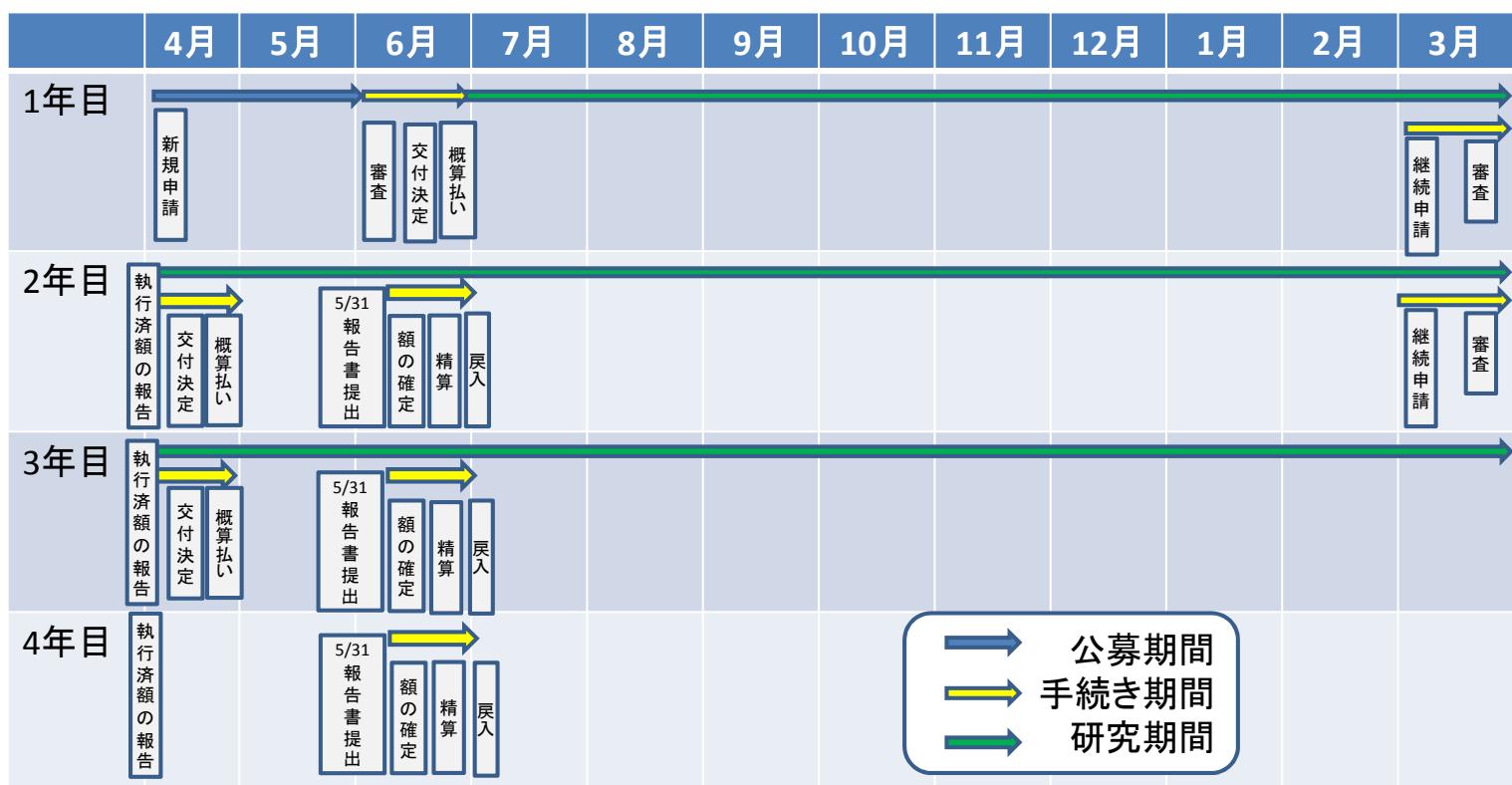


南紀熊野ジオパーク研究助成事業のスケジュール



- 研究助成費の公募対象は、国内の大学及び公的研究機関とする。研究助成の対象となる研究は、研究機関に所属する研究者及び博士後期課程の学生が行うレベルとし研究助成開始から3年以内に成果を公表できる見通しをもつ研究とします。
- 成果発表については、進歩に応じて下記の方法にて行ってください。
 - ・国際的な学術誌への投稿、又は、国際的な学会での発表

研究助成事業の申請の流れ

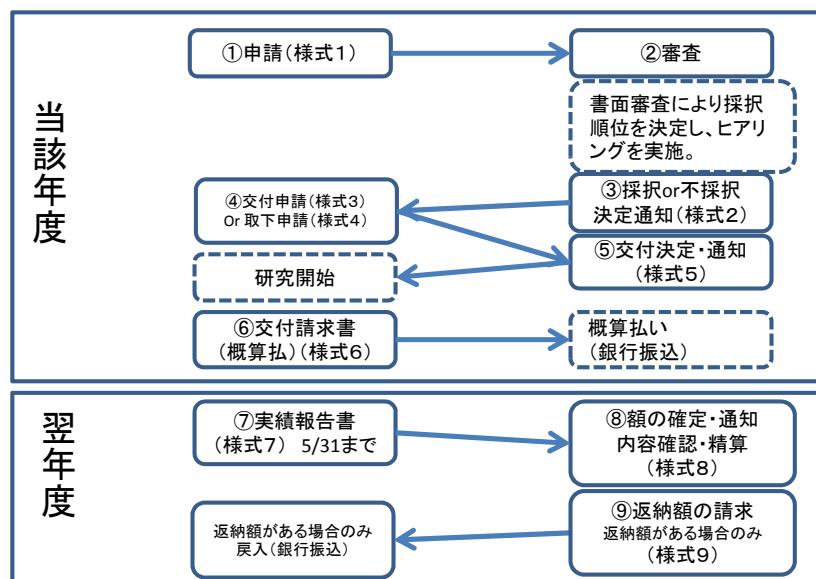
○右図は、1年間の手続きの流れです。最長3年の助成を受ける場合は、2年目以降は継続申請として様式1の提出が必要となります。

○研究計画書は、最長3年以内で作成してください。
なお、年度末の3月に継続申請を受けて、継続の可否は、毎年審査します。

○交付決定後は、「研究計画書」に基づき、「概算払請求書」を提出後内容を審査の上、全額を概算払いします。

○研究助成費の管理や諸手続は研究機関が行うこととし、間接経費は、直接経費の3割以内で応募時に各機関で設定してください。

○研究助成費の範囲は、科研費の直接経費(研究にかかる直接経費)と間接経費(各機関の執行管理に要する費用)を準用します。



※研究助成の期間は、最長3年ですが、単年度単位で実績報告をしてください。
2年目以降は継続申請となり同様の流れとなります。